

3 これからの水道事業経営

3-1 基本的な考え方

水道事業の運営方針は「村民に安全で安定した水を供給する」ことである。このため、経営面では「サービス水準の向上と経営基盤の強化」、施設整備面では、「計画的、効果的な整備と高水準化」に努める。

3-2 施策の内容

現在の課題を解決し、経営環境の変化に対応するため、次のような4つの施策を展開する。（表-3）

表-3 水道事業経営の課題と対応

1) 経営基盤の強化と計画的な事業の推進

項目	内容
積極的な経営改善	事務事業の効率化、コスト縮減などにより、経営改善を進める。
効果的な整備計画策定	今後の施設整備計画や財政計画は、事業の効果と財政状態を踏まえて、中長期的な視点から策定する。
施設の高水準化	配水管網や施設の整備は計画的に行い、施設能力の確保と向上に努める。
情報管理の高度化	情報の総合的、横断的活用により、事務事業の効率化や維持管理水準の向上を図るため、各種情報の共有化と管理体制の統一化を進める。

2) 安心・安全な給水の確保

項目	内容
水質管理の適正化	水質基準改正に対応し適切な水質検査を行い、住民の信頼性を確保する。
地下水の確保・保全	将来、配水区域と需要に応じた水源井戸開発を行い、井戸の清掃や取水ポンプの更新などにより取水能力の維持に努める。又、地下水の保全につながる環境対策に取り組む。

3) 安定した給水の確保と災害・非常時対策

項目	内容
老朽施設の更新	施設や設備の耐用年数・機能劣化の状況に応じて適切な修繕や更新を行い、安定的な給水機能を維持向上させる。
耐震対策の実施	地震時にも被害を最小にし早期回復が図れるよう、給水拠点の確保、応急給水に対応できる主要施設の耐震化を進める。
災害マニュアルの整備	地震など非常時の対応がスムーズに行えるように、事前対策、事後対策を整理し、実務に利用できるマニュアルを整備する。

4) 水道サービスの充実

項目	内容
住民ニーズの把握と対応	多様化している住民ニーズを把握し、迅速に対応することにより、顧客満足度を向上させ、経営改善を図る。
積極的な情報開示	水道事業の透明性向上と説明責任を果たすため、業務状況等の情報は積極的に提供する。

3-3 計画給水区域

本村には、5簡易水道施設(宇検村北部地区、部連地区、名柄地区、平田地区、阿室地区)と3飲料水供給施設(新小勝地区、佐念地区、屋鈍地区)の合わせて8水道施設があり、普及率は100%である。

従って、8水道施設をハード統合し、新設湯湾浄水場を基幹浄水場とした宇検村簡易水道事業が創設されたときの計画給水区域は、8水道施設の給水区域を足した区域となる。